



平成22年4月26日

各 位

会社名：函 書 印 刷 株 式 会 社

(コード：7913 東証第一部)

代表者名：代表取締役社長 沖津 仁彦

問合せ先：常務取締役財務本部長 近江屋 喬

(TEL：03-5843-9838)

業績予想及び配当予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成22年4月26日開催の取締役会において、平成21年10月26日に公表しました平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想及び配当予想について、最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 業績予想の修正

(1)平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	59,400	350	660	△220	△2.56
今回修正予想(B)	59,300	△260	50	△1,100	△12.84
増減額(B-A)	△100	△610	△610	△880	
増減率(%)	△0.2	—	—	—	
(参考)前期実績 (平成21年3月期)	64,939	359	696	△682	△7.95

(2)平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	57,800	170	640	△150	△1.75
今回修正予想(B)	57,590	△470	30	△880	△10.26
増減額(B-A)	△210	△640	△610	△730	
増減率(%)	△0.4	—	—	—	
(参考)前期実績 (平成21年3月期)	63,147	△103	422	△680	△7.92

(3) 修正の理由

営業利益、経常利益につきましては、緊急のコスト削減策を実施し、固定費の圧縮に努めるなど、収益改善及び経営体質のより一層の強化に努めてまいりましたが、想定を超えた出版印刷市場の縮小、商業印刷市場においても受注競争の激化や単価の下落が更に進んだ結果、前回予想を大幅に下回る見通しとなりました。

当期純利益につきましては、前期に取り組みました沼津工場の構造改革を更に推し進め、1億8千7百万円を特別損失に計上する見込みとなり、前回予想を下回る見通しとなりました。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	第2四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想 (平成21年10月26日発表)	—	(未定)	(未定)
今回修正予想	—	0.00	0.00
当期実績	0.00	—	—
(参考)前期実績 (平成21年3月期)	4.00	2.00	6.00

(2) 修正の理由

当社は、安定的な配当を継続することを最重要政策のひとつと位置付けるとともに、企業体質強化のための内部留保にも配慮しながら総合的に決定することを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、平成21年10月26日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において期末配当予想を「未定」とさせていただきましたが、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況に対処するため、更なる構造改革の推進、原価の削減を図るとともに、設備の効率的な稼働を目的として、トッパングループ各社と連携し生産最適化に努めてまいりましたが、当期の業績は当期純損失を計上する見込となりました。

その結果、平成22年3月期の期末配当につきましては、一時的に経営資源の全てを当社の事業活動に振り向け業績の早期回復を図り、速やかな復配を実現させるため、誠に遺憾ではありますが、無配とさせていただく予定であります。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

3. 特別損失の計上について

当社は、平成22年3月期において下記のとおり特別損失を計上する見込となりましたので、その概要をお知らせいたします。

(1) 本社移転費用

当社グループは、全部門のコミュニケーションの活発化、業務の効率化及び事務所費等のコスト削減を目的として、平成21年12月に本社を北区東十条へ移転いたしました。この移転に伴い3億9千7百万円（固定資産除却損1億3千3百万円、旧事務所原状回復費1億1千4百万円、移転費用等1億5千万円）を特別損失として計上する見込であります。

(2) 三田工場の取り壊し

当社グループのプリプレス部門については、平成22年1月にトッパングループとの連携による生産最適化を目的として凸版印刷板橋工場内に移転しております。この移転に伴い、三田工場を取り壊す予定のため、1億8千9百万円（固定資産の減損損失1億4千7百万円、解体費用4千2百万円）を特別損失として計上する見込であります。

(3) 沼津工場の構造改革

製造工程の見直しと場内物流の合理化を目的として前期より取り組んでおりました沼津工場の構造改革について、当期において更に構造改革を推し進めた結果、1億8千7百万円（固定資産除却損1億5百万円、諸費用8千2百万円）を特別損失として計上する見込であります。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

以上